

サービス推進室では、医療安全に関する情報を収集し、看護現場で役立つポイント等を付加して提供しています。それぞれの現場に応じた点検ツールとしてお役立てください。

No.1

PMDA 医療安全情報「弾性ストッキング取扱い時の注意について」が発表されました。

PMDA 医療安全情報 No.56 2019年2月「弾性ストッキング取扱い時の注意について」では、下肢の閉塞性動脈硬化症(ASO)などの動脈血行障害を有している患者への弾性ストッキングの装着は、動脈を圧迫することになるため、血流をさらに減少させる危険があります。

弾性ストッキングからの圧迫が、アテローム等による狭窄部を圧迫することで動脈を閉塞し、血行障害を悪化させるおそれがある。

動脈血行障害患者の場合、着用が必要な場合には、主治医と慎重に検討しましょう。また、着用が必要な場合には、医療従事者間で着用していることを共有し、着用中は血行障害が悪化していないか確認のうえ異常が疑われた場合は直ちに使用を中止することが重要です。

本情報の留意点
 この情報は医療安全情報として、公益財団法人日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業報告書及び医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく取扱い、平易な報告書において公表された事例の中などから、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が専門家等の意見を参考に医薬品、医療機器の安全使用推進の観点から医療関係者により分かりやすい形で情報提供を行うものです。
 この情報の作成に当たり、作成期における正確性については尽力を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
 この情報は、医療従事者の取組を支援し、医療従事者に義務や責任を課したるものではなく、あくまで医療従事者に対し、医薬品、医療機器の安全使用の推進を支援する情報として作成したものです。

どこよりも早くPMDA医療安全情報を入手できます！登録はこちらから。

1/2

発行：fmda 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 印刷：2019年1月 医療安全情報室 TEL: 03-3506-9486 (ダイヤルイン) FAX: 03-3506-9643 http://www.pmda.go.jp/

日本医療機能評価機構が公表している医療事故情報収集等事業第48回報告書においても、「下肢閉塞性動脈硬化症の患者への弾性ストッキング装着に関連した事例」の分析結果が掲載されています。ASO患者に弾性ストッキングを装着し下肢に虚血症状を生じた事例の主な背景・要因は次のとおりです。